



みんなで外遊び！ ～丸山公園（4月18日 撮影）



議会だより

No 206

2023年6月1日発行

【令和5年第1回定例会】

安心して住み続けられるまちへ 令和5年度予算可決

一般質問（5人が登壇）

特養建替え／観光振興策／地域文化の継承

総務常任委員会 避難所運営・防災公園整備構想等

産業常任委員会 ふるさと納税の現状と課題



町ウェブサイト
「広尾町議会」
QRコード

広尾サンタランドマスコットキャラクター
「さーたちちゃん」

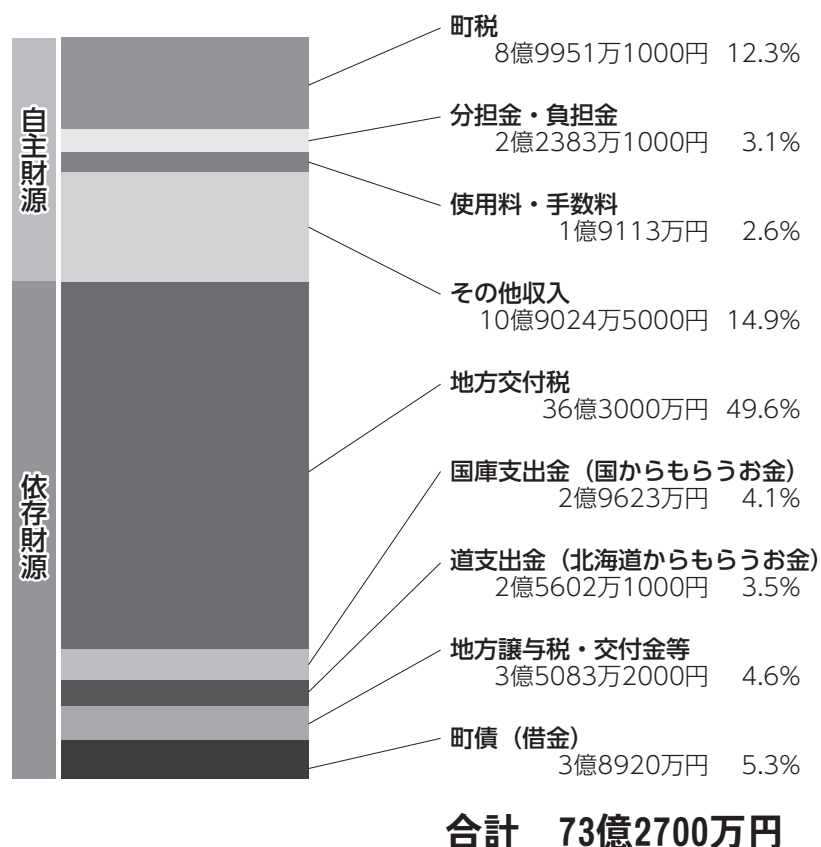
○発行・編集／ 広尾町議会・議会広報特別委員会 E-mail g-gikai@town.hiroo.lg.jp

〒089-2692 北海道広尾郡広尾町西4条7丁目 TEL 01558-2-0180（議会直通） FAX 01558-2-2114

けられるまちへ

令和5年 第1回 定例会

一般会計収入（歳入）



令和5年第1回定例会は、3月2日（木）から10日（金）までの9日間の会期で開かれました。条例の制定や一部改正、補正予算、令和5年度予算などが提案され、本会議・委員会での審議の結果、全議案を原案のとおり可決しました。

◆令和5年度各会計の予算額

会 計 名	本年度予算額	前年度予算額	比 較
一般会計	73億2700万円	76億9200万円	△3億6500万円
港湾管理特別会計	1億210万円	1億380万円	△170万円
簡易水道事業特別会計	水道事業会計と統合	1億2270万円	△1億2270万円
下水道事業特別会計	下水道事業会計に移行	3億5060万円	△3億5060万円
国民健康保険事業勘定特別会計	9億4970万円	9億5900万円	△930万円
介護保険特別会計	6億9820万円	7億560万円	△740万円
介護サービス事業特別会計	2億4400万円	2億7960万円	△3560万円
後期高齢者医療特別会計	1億3090万円	1億3100万円	△10万円
病院事業債管理特別会計	6883万円	5756万3000円	1126万7000円
水道事業会計	4億5222万6000円	2億5556万2000円	1億9666万4000円
下水道事業会計	6億5020万1000円	—	6億5020万1000円
合 計	106億2315万7000円	106億5742万5000円	△3426万8000円

令和5年度 予算

安心して住み続



主なしごと

公園整備事業

6106万円

公園整備構想に基づく新たな公園の実施設計・用地確定測量や町民交流施設の基本設計等を行います。

高齢者の外出支援

917万円

75歳以上の高齢者を対象として、町内タクシー会社2社及びバス会社2社で利用できる助成券を交付します。

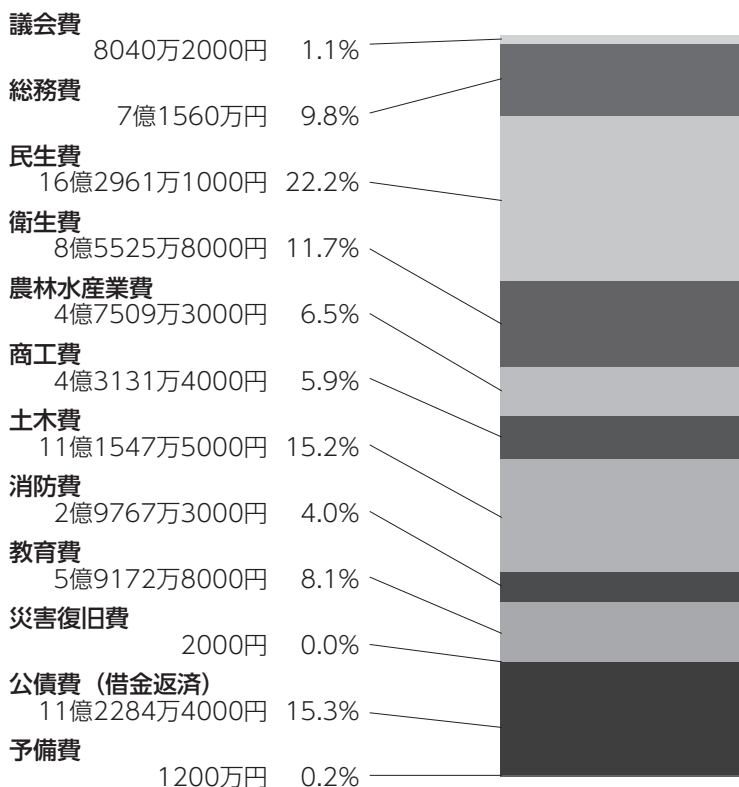


児童福祉会館の改修

1599万円

児童福祉会館の既存の調理室を童話ルームに改修します。

一般会計支出（歳出）



合計 73億2700万円

令和5年度予算審査のため、予算審査特別委員会（小田雅二委員長）を設置。一般会計、6特別会計、2企業会計の計9会計について、3月8、9日の2日間審査を行い、10日の本会議で討論・採決の結果、全会計総額106億円の予算が可決されました。

※一般会計は起立による採決を行い、賛成多数で可決。（賛否の内訳はP11）

【予算の概要】

一般会計予算額は73億2700万円で、前年度と比べて3億6500万円の減

となりました。

収入の約半分を占める地方交付税は36億3000万円を見込み、前年度と比べて1億2000万円の増となりました。

町税収入は前年度予算比0.9%増の8億9951万円を見込んでいます。

町の借金にあたる町債の発行額は前年度予算と比較して38.9%減の3億8920万円で、令和5年度末の借金残高見込みは一般会計9億6693万円（全会計で113億9760万円）となっています。

次のページは
「新年度予算の質疑」



予算の使い道は

予算審査 特別委員会

3/3,8,9

委員長 小田雅二
副委員長 旗手恵子

新年度予算についての質疑
内容を抜粋、要約してお知
らせします。

一般会計

農山漁村ホームステイ

問 ホームステイで荒川区
の子どもに係る来年度
の自己負担額は。

答 東京都荒川区と協議し、
令和2年度から負担額
を1万5000円とした。
額を決めてから3年連続で
事業自体が中止になってい
るため、来年度は1万50
00円の負担とした。

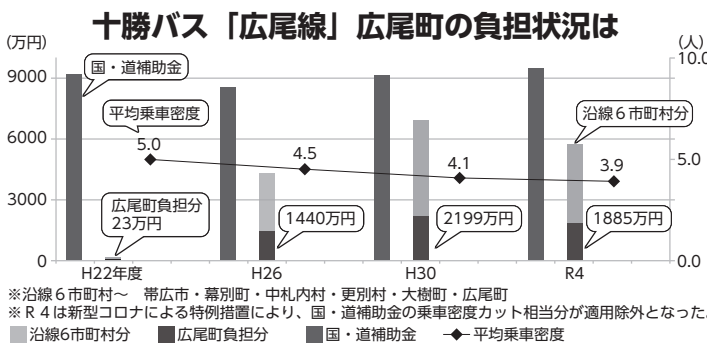
問 今後、負担額の検討は。

答 学年全体の児童に来て
もらう趣旨で、保護者
の経済状況もいろいろある
と思う。現時点では妥当な
金額だと判断している。

十勝バス「広尾線」

問 沿線市町村で減便に向
けた協議をしていると
のことだが、費用負担の軽
減の可能性は。

答 十勝バスによるシミュ
レーションでは、1往
復減便や2往復減便をした
場合、条件にもよるが沿線
自治体の負担総額は最大で
約3600万円減と試算。
広尾町は、最大928万円
の負担減となる見込み。



移住支援

問 令和3年度以降の実績
と令和5年度の内訳は。

答 令和3年度と4年度の
実績はない。令和5年
度は2組分を見込んでいます。

問 東京圏からの移住に限
定されているが、端的
に町外から広尾町へ移住し
た場合に町単独で支援をす
る検討は。

答 首都圏の一極集中を是
正することが狙いで、
制度に沿った事業を実施し
ている。町外からの人材を
確保したい登録事業所の拡
大に力を入れていく。

結婚新生活支援

問 昨年度の実績と令和5
年度の見込みは。

答 令和4年度は2組。令
和5年度は29歳以下の
夫婦を3組、39歳以下の夫
婦を4組の計7組分見込ん
でいる。

問 年齢制限や所得制限の
見直しは。

答 町単独で要件の拡大を
検討していたが、国か
ら収入要件の引上げや29歳
以下の補助額の増額が示さ
れたので制度に合わせた。

移住体験

問 令和4年度の実績は。

答 音調津の住宅は2組3
名で、日数は122日。
広尾市街の住宅は5組10名
で、日数は111日。合計
7組13名で、日数は233
日となっており、コロナ禍
以前の水準に近づきつつあ
る状況。

問 利用促進に向けたPR
活動への協力など移住
に繋がる方策は。

答 申し込みの際に、職場
見学や体験を希望され
る方を優先的に入居させる
方針。多くの人に利用して
もらうため期間を2か月以
内としている。

新年度

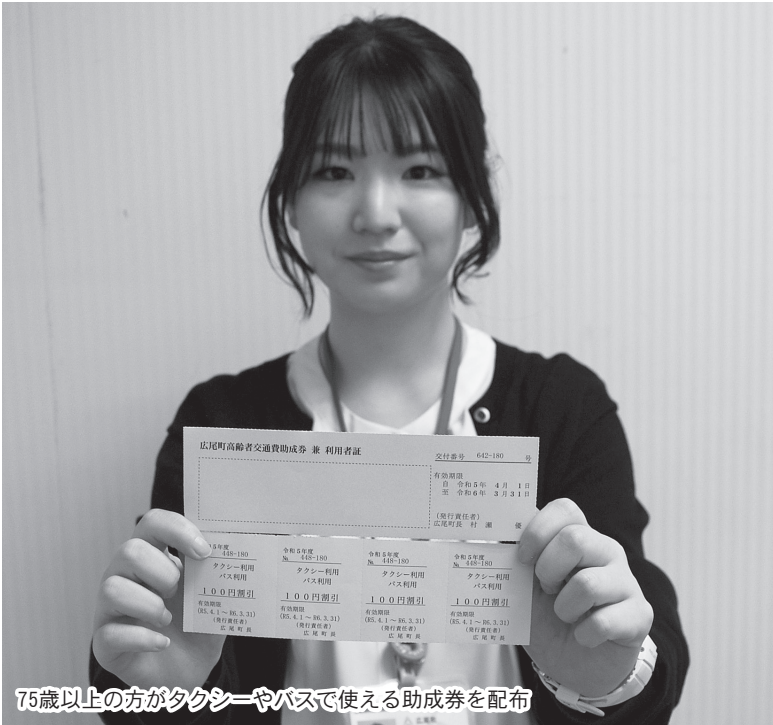
高齢者外出支援

問

夜間タクシーを利用したいときに終わっていることがあり使用しにくい。事業者との協議は。

答

タクシーとバスの事業者には理解と協力を求めている。事業者の運行形態や経営方針に町が指摘や要望する立場にないと認識している。



75歳以上の方がタクシーやバスで使える助成券を配布

のーまひろお補助金

問

のーまひろおの多機能型事業所ゆうゆう舎への運営費補助金の内容は。

答

障がい福祉サービスの提供や充実を図るための処遇改善に要する費用で、職員13人分の人件費。令和9年度まで支援する予定。

空き家対策

問

国の対象からは外れるが、美観や環境、防災上の意味で積極的に空き家を除却する支援の検討は。

答

危険空き家は実態調査等を行い、所有者に指導している。景観や防犯上、危険になって崩壊等になるような物件は所有者に適切な管理をお願いする。

公園整備事業

問

人口規模や財政状況から見て、公園整備に総額7億5000万円の事業費をかけることは、将来の世代に負担を残すのでは。

答

人口規模や財政状況から見て、公園整備に総額7億5000万円の事業費をかけることは、将来の世代に負担を残すのでは。

問

キャンプ場を公園内に建設する考えは。

答

検討の余地はあると思うが、構想には入っていない。

答

補助金や起債の有利な条件をフルに使い、この金額の水準であれば実施できると判断をした。有利な財源が確保できるタイミングを逃すことなく、これから広尾町で暮らしていく世代が安心して暮らせるために、きちんとした公園の整備を進めていく。

問

観光交流施設と町民交流施設では差異がある。再度検討する考えは。

答

雨の日でも遊べる室内の遊び場を要望する声が多く、町民交流施設は子どもの室内遊び場と公園のトイレ機能を有した建物として、屋外の公園と同時に供用開始する方針となった。観光交流施設は第6次まちづくり推進総合計画の後期の実施計画の際に検討する。

魚類飼育施設改修

問

魚類への影響を考えると、早期に対応するべきでは。

答

時期的に水質悪化の程度が低いと考え、週1、2回海水を補給して循環することで対応できると判断した。早期に復旧するよう対応したい。

臭気測定調査

問

悪臭の測定はどのように行ってきたのか。

答

特定悪臭物質の測定値が過去の検査で基準値であったこともあり、ここ数年は行っていない。今後は定期的に行っていきたい。

問

何らかの検討や対策が必要ではないか。

答

過去の測定では基準値を超えることはなかったが、臭気を測定する時期や気候等の状況を見て実施していきたい。基準値を超えるようなことがあれば、法律に従って判断する。

森林環境課と税

問 算定要素の配分割合と私有林の人工林面積、林業就業者数は。

答 配分割合は、人工林面積が5割、就業者数2割、人口3割の設定で、現在市町村には8割、都道府県に2割譲与されている。また、私有林人工林面積は5122ヘクタール、林業従事者数は41人。

有害鳥獣駆除

問 駆除に必要な消耗品の価格が高騰している。奨励金に反映させる考えは。

答 管内の状況を把握し、財源や財政負担の問題も含めて検討したい。

問 アライグマの生息数が十勝管内で爆発的に増えている。駆除に使用する箱わなの確保や貸出しの考えは。

答 令和4年度末の箱わなの保有数は54基。狩猟免許がなくても自己の敷地

内であればアライグマ等の捕獲許可を申請できる制度ができた。箱わなの設置量を増やし、保管場所を定めて柔軟に対応できるように対策を講じる。

アイスストッカー大会

問 大会の参加規定は中学生以上となっている。参加チームが年々少なくなってきたので、小学生にも広げては。

答 家族での参加も可能なので、小学生のうちからアイスストッカーに触れ合えるような機会を設けられないか検討したい。

児童福祉会館改修

問 調理室を童話ルームに改修する内容は。

答 当初増築を予定していたが、防火対策が必要で多額の費用が掛かるため、調理室を童話ルームに改修する。小さなお子様連れの方にも安心して利用していただけるルームにしたい。

問 調理室がなくなるが、行事やイベントへの対応は。

答 近年、利用頻度が数回程度となっている。代替施設として勤労青少年ホームと青少年研修センターの調理室を利用していただく調理室がなくなることで施設利用に不都合が生じないよう周知する。



令和5年度予算を可決

討論（一般会計）

反対 経済活動の持続化

旗手恵子 議員

コロナ禍による商工業者、飲食店等の影響は大きく、自治体の支援は喫緊の課題である。ホームステイ受入事業は東京都荒川区や個人が負担すべきで、ふるさと納税は、広尾町の中高生の研修事業の費用に充当すべきと考え、本案に反対する。

賛成 若い世代応援継続

萬亀山ちづ子 議員

まちづくり計画を基本とし、行政サービスの維持向上に努めた内容であると評価する。町民要望の高い公園整備事業の着手や子育て世代を応援する内容で、町民の活力と安心を重視した予算編成となっていることから、本案に賛成する。

反対 公園整備の見直しを

志村國昭 議員

公園整備に反対するものではないが、実施計画等に係る経費が巨額予算を投じる構想である。町の実質公債費比率は全道で7番目と高い状況にあり、一度立ち止まって構想を練り直すことも必要と考え、本案に反対する。

賛成 町の魅力を再発見

浜野 隆 議員

子ども農山漁村交流から始めるまち・ひとづくり事業は、寄付者の意向に沿った事業執行であり、地元の魅力を再発見するものとなっている。また、関係人口の拡大や町のさらなる魅力発信に取り組む内容であることから、本案に賛成する。

子育て 支 援

出産育児一時金の 支給額引上げへ

広尾町国民健康保険条例の一部改正

令和5年
第1回
定例会
3/2～10



出産にかかる経済的負担の軽減を

健康保険法施行令の一部改正に伴い、令和5年4月1日から出産育児一時金の支給額を引き上げます。

今までは、妊娠4か月以上の被保険者が出産したときは、1児につき40万8000円を支給していましたが、8万円引き上げ、48万8000円を支給します。

また、産科医療補償制度の対象となる出産の場合は、掛け金の1万2000円が上乗せされ、42万円から50万円となります。

◎出産育児一時金の推移

(単位：円)

	出産育児一時金	*産科医療補償制度掛金	合 計
平成17年	300,000	0	300,000
平成18年10月	350,000	0	350,000
平成21年1月	350,000	30,000	380,000
平成21年10月	390,000	30,000	420,000
平成27年1月	404,000	16,000	420,000
令和4年1月	408,000	12,000	420,000
令和5年4月	488,000	12,000	500,000

ほかにこんな支援も

出産祝い金

170万円

出産した際に、第1子5万円、第2子5万円、第3子以降10万円の祝い金を支給します。

出産・子育て応援給付金
300万円

妊娠・子育て家庭に対する経済的支援として、妊娠届出時5万円、出産届出時5万円の計10万円を支給します。

医療費の助成拡大

254万円

中学生までを対象としていた医療費の無償化を、今年度から高校生まで拡大します。

保育料等の無償化

認定こども園と保育所では、3歳以上の保育料と副食費の無償化を継続します。

スマートフォン向け
アプリの配信

スマートフォン向けアプリによる子育て支援に関する情報を配信。

ファミリーサポート
センター事業

子育ての支援を受けたい方と支援を行いたい方を会員として、地域における子育てに関する相互援助活動を支援します。

次のページも
「第1回定例会」



7 広尾町議会だより 2023年6月1日



※産科医療補償制度
分娩時に何らかの理由で重度脳性まひとなった赤ちゃんとその家族に対する経済的負担の補償と、原因分析・再発に取り組んでいる制度

◎指定管理者の指定

施設名	指定管理者
山フンベ集会所	山フンベ町内会
本通3丁目集会所	本通3丁目集会所管理委員会
広尾東地区集会所	広尾東地区集会所管理委員会
丸山3丁目集会所	丸山3丁目集会所管理委員会
丸山寿の家	丸山寿の家管理委員会
並木町寿の家	並木町町内会
錦町寿の家	錦町寿の家管理委員会
広尾町美幌共同作業所	桜町内会
広北児童館	広北児童館管理委員会
野塚農業センター	野塚町内会
東豊似農業センター	東豊似町内会
広尾町担い手会館施設	新生町内会
紋別研修センター	紋別町内会
茂寄集会所	茂寄町内会
音調津集会所	音調津集会所管理委員会
野塚寿の家	野塚老人クラブ
豊似寿の家	豊似老人クラブ
広尾町生活支援ハウスなごみ	(社福)広尾町社会福祉協議会
広尾町漁村環境改善総合センター	(有)広陽産業
広尾町水産加工排水処理センター	(一社)広尾町水産加工排水処理公社
広尾町立野塚公民館	野塚公民館運営審議会
音調津総合センター	音調津総合センター運営委員会

その他決まったこと

回収不能となったため、権利を放棄しました。

・件数 2件

・金額 30万6804円

指定管理者

令和5年4月1日から令和10年3月31日までの期間

における各施設の指定管理者を指定しました。

権利の放棄

土地使用料に係る債権が

人権擁護委員候補者の推薦

人権擁護委員候補者の推薦を「適任」としました。

鈴木博美さん（新任）

国保病院中期計画

地方独立行政法人広尾町

国民健康保険病院は、令和5年度から令和8年度までの4年間に、第2期中期目標を達成するための計画を策定した。町は、本計画の事業を確実に実施することにより、病院経営の健全化や良質な医療を安定的に提供できる計画と認可しました。

ボランテアを積極的

に受入れ、ホール案内等に配置するとあるが、ボランテアのあり方や有償ボランテア導入についての考えは。

答

第1期中期計画中にボランテアの受入れはなく、継続して募集を図る有償ボランテアについては、中期計画を作成している国保病院と協議していきたい。

条例の制定

◆広尾町個人情報保護法施行条例の制定

個人情報の保護に関する法律の改正に伴い、地方公共団体に委任された規律等を定めるための条例を制定しました。

◆広尾町情報公開・個人情報保護審査会条例の制定

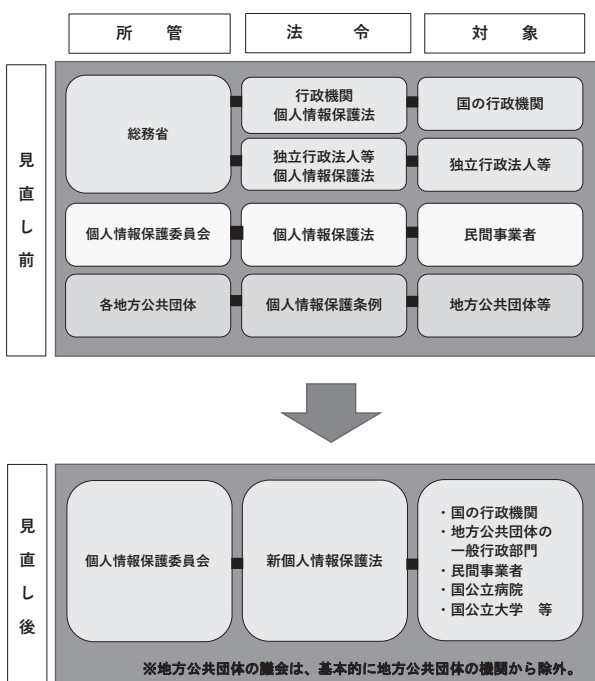
個人情報の適正な取扱いを確保するための諮問機関となる「広尾町情報公開・

個人情報保護審査会」についての条例を制定しました。

◆広尾町議会個人情報保護条例の制定

個人情報の保護に関する法律の改正に伴い、地方公共団体の議会については、基本的に地方公共団体の機関から除外されたため、議会における個人情報の適正な取扱いに関し必要な事項を定めるための条例を制定しました。

個人情報保護法改正の前後



条例の改正

◆広尾町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正

老人ホームの支援員や特別養護老人ホームの介護士等で日額・時間額の報酬を受けるパートの会計年度任用職員に、月額給料を受ける支援員・介護士と同様の養護業務手当を支給する改正をしました。

◆広尾町特別会計条例の一部改正

簡易水道事業と下水道事業の企業会計移行に伴い、それぞれの特別会計を廃止しました。

◆広尾町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
児童のための安全計画策定や送迎自動車を行うする場合の利用乳幼児の確実な所在確認と使用する自動車にブザーや車内の乳幼児見落とし防止の装置を備えることの義務付け、衛生管理についての改正をしました。

◆広尾町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

利用者の安全計画策定や事業所外での活動等の移動のために自動車を運行する場合の点呼などの方法による利用者の所在確認の義務付け、感染症や非常災害の発生時における支援継続計画の策定等についての改正をしました。

補正予算

一般会計

ふるさと納税寄附金

△5615万円

問 水産資源の低迷による影響もあったと思うが、

同じ漁業の町である日高3町（えりも町、浦河町、様似町）は比較的伸びていると聞くが。

答

日高3町でも、昨年度は赤潮の影響で2割程度落ちている状況。

生き生きプロジェクト
交付金 △165万円

問 大幅な減額となった理由は。

答 事業の大きな柱の一つであるふるさとワーキングホリデー事業の参加人数を15人程度と想定していた。申込みは10人程度あったが、時期の重複や受入事業所の都合などの理由で参加者が5人となったため減額した。



ふるさと納税でも海産物の人気は高い

企業版ふるさと納税寄附金
2110万円

による協賛金が2700万円で合計は3219万8000円。

問 主に広域連携映画製作委員会負担金として活用しているが、負担額の現状と継続期間は。

答 広尾町の負担額は、令和4年度実績ベースで負担金が189万8000円、出資金が330万円、企業版ふるさと納税の寄附金。また、活動準備は、2億5000万円のめどが立つまで継続する。

令和4年度 補正予算の内訳

一般会計 ⑫⑬	79億4153万円	3億6901万円	減
港湾管理特別会計 ③	1億1151万円	609万円	増
簡易水道事業特別会計 ⑦	1億3620万円	361万円	減
下水道事業特別会計 ⑥	3億5758万円	1026万円	減
国保事業勘定特別会計 ⑥	9億1670万円	4480万円	減
介護保険特別会計 ⑥	6億5103万円	6908万円	減
介護サービス事業特別会計 ⑥	2億5933万円	569万円	減
後期高齢者医療特別会計 ③	1億2516万円	301万円	減
病院事業債管理特別会計 ③	5601万円	40万円	減
水道事業会計 ⑤			
収益的支出	1億6353万円	267万円	減
資本的支出	7854万円	464万円	減

※会計名の後の丸数字は補正回数

(1万円未満切り捨て)



次のページは「行政報告・意見書・議案の賛否・議員の出欠状況」

村瀬町長からの

行政報告

※内容は要約しています。

漁業の生産実績状況

令和4年の漁業生産は、地元水揚げ20億1343万円、外地水揚げ1億5998万円の合計21億7341万円で、これに外来船水揚げ36億7651万円を加え、58億4992万円となり、前年対比146・7%、18億6211万円の増となった。

農業の生産状況

令和4年の農業粗生産高概算値は、畑作・畜産合わせて83億4370万円と過去3番目の高水準が維持された。

公園整備構想の完成

令和4年度に策定作業を進めていた「公園整備構想」の全体版が完成した。

町民の意見を取り入れながら取り組み、公園を整備

するに至った背景、町民の意見を集約した経過、公園のコンセプト、レイアウトなどを総合的にまとめた内容となっている。

第6次まちづくり計画「実施計画」の見直し

令和3年度から開始した第6次まちづくり推進総合計画「実施計画」は、財政状況や社会経済情勢等の変化に対応するため、事業の追加、修正など毎年見直しを行っている。

今回行った見直しは、新規追加が12事業、事業内容等の変更が30事業の合計42事業となった。

見直しに伴い、10億9793万2000円の増額となり、10年間の事業費の総合計は424億7806万1000円となる。

公営住宅等長寿命化計画の見直し

公営住宅の整備推進を目的に、平成23年度に当初計

画を策定。社会情勢の変化や事業の進捗等に応じて、内容の見直しを行い、新たに策定した。計画期間は令和5年度から14年度までの10年間で、概ね5年ごとに見直しを行う。

国の指針に基づき、維持管理を行い、今後人口減少等による空き家の増加も考えられることから、老朽化団地については除却をし、管理の効率化に努める。

都市計画マスタープランの見直し

都市計画にかかる基本的な方針を示すもので、平成14年度に策定し、計画期間は平成15年度から令和4年度までの20年間で、社会情勢の変化や関連計画に対応するための見直しを行った。

概ね20年後を見据えて検討を行い、都市計画審議会、議員協議会、パブリックコメントの意見を受け、令和5年度から24年度までを計画期間として、策定した。

意見書2件を可決

国等へ提出

※内容は要約しています。

① 食料安全保障の強化及び食料・農業・農村政策の確立と酪農・畜産経営の安定を求める意見書

提出者 北藤 利通議員

酪農・畜産においては、飼料価格などの高騰が続く中、長引くコロナ禍で牛乳乳製品の需要が回復せず、道内では需給改善に向けて2023年度も更なる減産が求められている。

農業者が将来に渡って安心して営農できるよう、我が国の食料安全保障の強化と国内酪農・畜産の経営安定を求めるよう要望する。

提出先

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、①②、農林水産大臣、②、厚生労働大臣

② 新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけを「5類」に移行後も、公的支援が後退しないことを求める意見書

提出者 旗手 恵子議員

新型コロナウイルス第8波のもと

令和5年 第1回定例会 議案審議結果

●賛否のあった議案 (議案名は一部省略しています)

○：賛成 ×：反対 欠：欠席

議案名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	議決結果
	松田健司	浜野隆	萬亀山ちよ子	前崎茂	北藤利通	志村國昭	星加廣保	欠	渡辺富久馬	小田雅二	旗手恵子	山谷照夫	堀田成郎	
議案 45 令和5年度一般会計予算	○	○	○	×	×	×	○	欠	○	×	×	○	—	可決 (6-5)

※全会一致した議案の掲載は省略しています。

※堀田議員は議長のため、採決には加わりません。
※8番は欠番です。

議員の会議等出欠状況をお知らせします

(令和4年12月定例会終了後～令和5年3月定例会まで)

(1) 定例会・臨時会

○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退

			議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
			議員名	松田	浜野	萬亀山	前崎	北藤	志村	星加	欠番	渡辺	小田	旗手	山谷	堀田	
開催日	開催会議名・主な内容																
1/30	第1回臨時会（補正予算など）			○	○	○	○	×	○	○		○	○	○	○	○	
3/2	第1回定例会（条例制定など）			○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	
3/3	第1回定例会（補正予算など）			○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	
3/7	第1回定例会（一般質問）			○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	
3/10	第1回定例会（新年度予算など）			○	○	○	○	○	○	遅		○	○	○	○	○	
開催日数計		5日		出席日数計		5	5	5	5	4	5	5		5	5	5	5

(2) 委員会

○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退 —：所属外

		議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		議員名	松田	浜野	萬亀山	前崎	北藤	志村	星加	欠番	渡辺	小田	旗手	山谷	堀田
開催日	開催会議名・主な内容														
1/27	第1回議会運営委員会		－	○	○	○	－	－	○		○	－	－	○	○
2/1	議会広報編集会議		－	－	－	○	○	○	×		○	－	－	○	－
2/9	第1回産業常任委員会		○	－	－	－	○	○	○		－	○	○	－	○
2/10	第1回議員定数等に関する調査特別委員会		○	○	○	○	○	○	×		○	○	○	○	○
2/10	第1回議会広報特別委員会		－	－	－	○	○	○	×		○	－	－	○	早
2/13	第1回総務常任委員会		－	○	○	○	－	－	－		○	－	－	○	－
2/24	第2回議会運営委員会		－	○	○	○	－	－	○		○	－	－	○	○
3/2	第3回議会運営委員会		－	○	○	○	－	－	○		○	－	－	○	○
3/3	予算審査特別委員会（正副委員長互選）		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	－
3/8	予算審査特別委員会（新年度）		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	－
3/9	予算審査特別委員会（新年度）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	
3/10	議会広報編集会議		－	－	－	○	○	○	○	○	○	－	○	－	

※議長の委員会への出席

堀田議員は議長のため、各委員会に所属していませんが、いずれの委員会にも随時出席し、発言することができるため、出席した委員会は「○」と表しています。

※予算審査特別委員会・議員定数等調査特別委員会は議長を除く議員で構成されています。

(3) 議員協議会・研修・その他

○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退 —：該当外

		議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
		議員名	松田	浜野	萬亀山	前崎	北藤	志村	星加	欠番	渡辺	小田	旗手	山谷	堀田	
開催日	開催会議名・主な内容															
1/30	第1回議員協議会		○	○	○	○	×	○	○			○	○	○	○	○
1/30	議会モニター会議（2班）		－	○	－	－	－	○	○			－	○	○	○	○
2/15	議会懇談会（地域おこし協力隊、全議員）		○	○	○	○	×	○	×			○	○	○	○	○
2/15	広尾町・大樹町議会議員研修・交流会		○	○	○	○	×	×	×			○	○	○	○	○
2/17	第2回議員協議会		○	○	○	○	×	○	○			×	○	○	○	○
3/2	第3回議員協議会		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	



次のページは「一般質問」「広尾高校・特養建替え・インボイス制度」



一般質問



まえの 茂 議員

3月定例会では、5人の議員が一般質問を行いました。
※議会だよりでは、内容を要約して掲載しています。

各議員の一般質問は録画中継にてご覧いただけます。
(QRコードは16ページ掲載)

広尾高校の魅力発信は

町長 地域学導入に全面協力

質問

2月28日、道教委
が公表した令和5

年度公立高校入試の出願状
況で、広尾高校は21人、0・
3倍の倍率であった。

また、広尾中学校卒業生
46人中19人が同校進学予定
となっている。

「広尾高校サポートプラ
ン13」で本町も支援をして
いるが、少子化により、広
尾中学校の卒業生は令和7
年度52人、8年度37人、9
年度29人と、7年度をピー
クに30人台で推移する。

カナダ国際交流の派遣生
徒の増員や大学進学等の助
成など魅力発信を考えてい
かなければならない。1学
級の定員40人から30人への
引き下げを、引き続き要望
していくべきと思うが。

答弁

村瀬町長

中学校での進路指導にお
いて、高校へのサポート事
業を含め、生徒及び保護者
に対し、広尾高校の魅力を
発信していく。教育委員会
と連携しながら、魅力ある
高校をどうすべきか関係者
と検討していく。

広尾高校では、令和6年
度から「広尾地域学」の導
入を予定している。地元広
尾のことを学び、進学等で
広尾を離れた生徒もいずれ
は広尾に戻りたいという気
持ちを持つてもらいたいと
いうもの。地域学の導入に
あたり、講師の決定等、町
として全面的に協力したい。
1学級の定員の見直しに
ついては引き続き、管内で
連携し要望していく。

半減する入所者数の住民説明は

町長

介護職員の人材確保及び 各会議等で説明

質問

特別養護老人ホー
ム(定員50人)が

老朽化により、これを廃止
し「地域密着型老人福祉施
設」(定員29人)に、ショ
トステイは10床から1床に
減らし、合わせると今の60
床から30床に半減になると
議員協議会で説明された。

整備までの期間が、短期
間であり唐突感が否めない
が、今後の住民への説明と、
新たな入所待機者が生ずる
懸念は。

介護職員の確保が厳しく
なっているが、正職員化な
ど待遇改善が必要では。

ユニット型にすれば、入
所者負担が増えるがその対
策は。

答弁

村瀬町長

施設改築の説明について
は、各委員会や入所者ご家
族に行った。今後も、町内
会連合会や関係団体、町内
専門職の会議などで説明を
予定している。

介護職員の待遇改善につ
いては、令和3年度から正
職員の介護職員の公募も行っ
ており、在職している会計
年度任用職員からも受け付
けている。実際に令和4年
度には1人を正職員として
採用した。今後も引き続き、
人材確保に努めていく。
ユニット型への移行によ
る自己負担額の増加につい
ては、経済的に入所が困難
な方に対しての低所得対策
を今後、他町村の事例も参
考にしながら検討していく。

インボイス制度中止、延期の要請を



はたて
旗手恵子 議員

町長

本制度の趣旨や理解深める

質問

本年10月からインボイス（適格請求

書）制度が導入され、今まで消費税納税義務がなかった「年間売上1千万円以下の事業者」に納税義務を求めることとなる。

すでに日本商工会議所、全国中小企業団体中央会、中小企業家同友会、日本税理士連合等、多くの団体がインボイス撤回や見直し、延期を求めている。

10月から課税業者との取引の際、免除されていた消費税分は控除対象とならず、現在免税業者でも、課税業者になるよう、取引業者から強いられるのでは。

本町の全事業者の内、インボイス登録業者は何社か、町の公営企業会計など、取引業者が免税業者の場合、消費税の取り扱いの処理方法は、多くの団体も要請しているように国に、中止・延期を求めるべきでは。

答弁

村瀬町長

インボイス制度については、令和元年の軽減税率の導入により、消費税という一つの税金の中に複数の税率が存在することになったことが要因となり、納税額の明確化や事務処理の効率化の目的である。また、事業者が消費税の仕入れ税額控除を適正に計算するためにも必要な制度であると認識をしている。

インボイス制度の円滑な導入のため、制度実施から3年間は免税業者からの仕入れについて80%を、その後の3年間については50%の仕入れ税額控除が可能であり、免税業者から課税業者になっても、簡易課税制度を選択することで簡易な計算で仕入れ税額控除を行うことが可能とされている。

本町のインボイス登録業者は、対象者を把握する情報を町では持ち合わせていないため、国税庁のホームページにて公表されている情報を確認すると、広尾町

の法人は136業者が登録されている。

町のインボイス制度の取り扱いについては、一般会計においては、消費税の申告義務がないことから、適格請求書を求めることはないが、上下水道事業は消費税の申告義務のある課税事業者であることから、仕入れ税額控除の適用を受けるため、課税事業者に対して適格請求書を求めることとしている。また、適格請求書については交付するため、発行事業者の登録を行い、令和5年度当初予算にシステム改修の予算を計上している。

インボイス制度については、国が進める制度であるため、町として意見を述べる立場にはないが、本制度の趣旨や理解を深めていければよいのではないかと考えている。

インボイス制度の概要 令和5年10月1日～



売手

売上税額
10,000円
(10%)

インボイスにより、売手と買手の
税率と税額の認識を一致させる

仕入税額
10,000円
(10%)

買手



買手の求めに応じインボイスを交付
※事前にインボイス発行事業者の登録手続きが必要

インボイスを保存して
仕入税額控除を適用



次のページも「一般質問」『観光振興
策・地域文化の継承・キャンプ場』



しむら 志村國昭 議員

どうなった？大丸山展望台の整備は

町長 大丸山全体を観光資源に

質問

令和3年第3回定例会で大丸山展望台を含めた町全体の観光振興について質問し「積極的な取り組みを行う」との答弁があつたが進捗状況は。

先般、本町で開拓農家を営む傍ら自然を題材に絵を描いた坂本直行先生の足跡をたどる番組が放映された。

日高山脈や広尾町の知名度を高める好機となり、先生の絵が目の前に広がるような眺望が楽しめる大丸山への集客や楽古岳登山者への入込みを期待するが、大丸山展望台を整備、再開するための町としての取り組み、さらに楽古岳に通じる林道修復を国へ要請するなどの考えは。

また、議会報告会、モニター会議などで「人口減少

対策にどう取り組むか」議

員の考えを求められ、私は「観光は関連する産業のすそ野が広い。観光振興による交流人口の誘致で移住・定住などの機会創出やUター

ン・ターンの就業対策として企業誘致を進めることを行政に求めていく」と述べた。

サンタランドを核とした交流人口の誘致策を検討するうえで、関係者の横断的な連携と意識の共有は欠かせない。前の質問から一年半が経過したが、観光振興など喫緊の課題へ「新たな議論や協議は進んでいない」との答弁は残念。日高山脈襟裳国定公園の国立公園化が目の前に迫っていることを念頭に早期に取り組むべき。

答弁 村瀬町長

令和3年4月から開始した、第6次まちづくり推進総合計画の中で「サンタランド」の魅力向上を重点プロジェクトに位置づけ、その実現のために広尾町活き生きプロジェクトの実施体制を生かし、3回の会議を開催したが、より具体的な議論を進めるところに至っていない。

また、プロジェクトチームを組織し、民間主導で再度サンタランドを町民から盛り上げる機運を高めていく構想についても、協議するに至っていない。

今後は、反省を踏まえ、観光協会の枠組みを活用し、北海道観光振興機構の助成を活用しながら、大丸山全体を含めた観光資源としての位置づけを町民も巻き込み議論していきたい。

坂本直行氏への功績を生かす観光への取り組みは、楽古岳登山道の修復要請など今後の課題としたい。展望台を生かした観光振

興は、大丸山展望台に向かう林道の工事も完了したことから、観光案内所「サンタの家」の指定管理者とも協議をしている。

日高山脈襟裳国定公園の国立化の関連については、十勝・日高山脈観光連携協議会を1市5町村にて組織し、アウトドア総合メーカー「モンベル」のフレンドエリアに加わり、「サンタの家」にてモンベル製品や広尾町オリジナルのモンベルグッズを販売するなど、交流人口の増加を図っている。

観光振興による交流人口の誘致関係は、既存のイベントや素材など町の資源を最大限に生かした体験型観光事業を関係団体と連携しながら充実させていくことが必要であると考えている。



坂本直行氏の作品
(広尾町海洋博物館)

日高山脈の眺望も楽しめる大丸山展望台



まつだ 松田健司 議員

地域文化の継承、再生待ったなし

町長 地域を主体に行政はサポート

質問

町内の人口減少率は全国平均の3倍のスピードで進行しており様々な分野での担い手不足が深刻化し地域文化や行事などの継承が滞り地域活動が廃止や中止に追い込まれていると認識している。そのうえで次の2点について伺う。

答弁 村瀬町長

若年層の社会参画への支援については、現在も各町内会が行う活動に対し、社会福祉協議会、町内会連合

から交付金が交付されるなど様々な支援が行われている。使い勝手が悪いという指摘には、担当とどう悪いのか、どうすればもっと使ってもらえるか検討したい。

各町内会に「担い手活動費」を新設し、若い世代が地域行事や地域活動に参画できるよう支援し地域文化の継承につなげていく考えについて。

2点目は、町内の限られた人材の有効活用や働き方改革の視点から公益的活動を行うための地方公務員に対する副業の解禁について伺う。

議員からの提案は、地域の方々が事業主体となつてやっていただき、行政についてはそのサポート役をすべきと思っている。

2点目については、地方公務員法で原則禁止されている職員の副業を積極的に容認するには公益性の高い活動に限定するなど、具体的な許可基準を設ける必要



地域行事の担い手不足解消に支援を

があり、現在、町における営利企業等への従事許可にあたっては、個別に判断している。

今後、職員の積極的な副業を解禁するためには、地域住民や産業・経済団体などの考えや困りごとを吸い上げ、基準などを明確にしていく必要があると考えている。

「町営キャンプ場」

町民ヒアリング必要では？

町長 ワークショップでの意見に基づく

質問

令和5年度の町政執行方針で産業分野や教育分野、防災や生活

分野で前向きな方針が打ち出されているが、町営キャンプ場については触れられておらず、当初予算案でも関連項目の記載がないが、キャンプ場についての情報は町民からの関心も高いことから現状での役場内議論の進捗や再開に向けての工程や日程等を伺う。

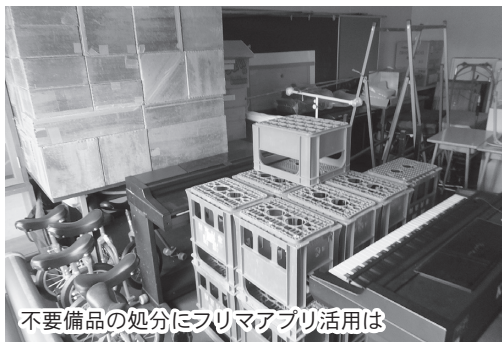
また、町民に対してのヒアリングや説明会を複数回開催して意見を反映していく事も必要と考えるが、そのことに対する町長の考えを伺う。

答弁 村瀬町長

施設整備の基本構想・基本計画の策定委託については、現在執行している段階である。委託の内容については、「計画条件の整理」「導入機能及び施設規模の検討」など8つの項目。これらを踏まえ、関係各課と協議・調整を経て基本構想等を策定する。

委託期間が本年3月20日までとなっており、当初予算に盛り込む時間的余裕がなく、早くて6月定例会に補正予算の計上をする。

整備スケジュールについては令和5年度に工事、令和6年度にオープンを予定。町民の意見については、昨年開催したワークショップなどの意見に基づいて再整備していきたい。



不要備品の処分にフリマアプリ活用は

質問 町からの情報発信は、広報やホームページ以外にツイッター、フェイスブック、インスタグラム、ユーチューブ等のSNSも利用されている。各自自治体それぞれいろんな工夫を試み、見てくれる人のターゲットを絞ったり、堅苦しくなく、読みやすくしたりしている。



おだ 小田雅二 議員

SNS発信と不要品の再利用は

町長 SNSの利用を調査研究

一方で、内容の表現等についての検討や評価についての役場としてのルールや基準を設定していくことも必要だと思うが、どのようになっているか。

また、室蘭市で学校の統廃合などで使用しなくなった給食用の食器や机、楽器などをメルカリに出品し、売上金は財源の一部に、という新聞報道があった。メルカリ側のコメントに「自治体のこのような再利用は循環型社会への意識も高められる」とあり、既に4、5件の自治体が行っているとのことだが、この件は新たな地域活性化への切り口となる可能性もあると考えるが、町としてはどのように考えるか。

答弁 村瀬町長

SNSを活用した情報発信については、公式アカウントをはじめ様々な部署や団体で積極的に行っている状況であるが、内容や表現については、それぞれの所属長の責任の下、各担当者に委ねられている。

昨今、インターネット上の様々なトラブルも散見されるため、町としてもインターネットを使いこなす能力をさらに高め、ネット社会のルールやマナーを守りながら、危機管理意識を持って、正しく有効に活用する方向で進めていきたい。

また、職員全体に対しても、広尾町公式ウェブサイト等の発信について提言ができる形にしていきたい。

学校の統廃合や廃止による不要備品の処分については、広尾町役場の各部署並びに関係機関において再利用し、その後、町民の希望者に無償配布といった手続きを進めてきている。

町不要備品を処分するにはフリマアプリの利用も一つの手法であると思われるが、十分な調査研究、準備が必要だと認識している。

議会はどなたでも
傍聴できます

仕事の合間に！

友達と！

団体などで！

町議会を見に来ませんか

手続きは簡単

役場の3階に
お越しください

「傍聴人入口」で
住所・氏名を記入

傍聴席へどうぞ！
席は自由です

次回
定例会は
6/2 (金)
開会予定

※団体で傍聴を希望する方は、
議会事務局にご連絡ください。
(☎20180)

第2回 臨時会

3/27

令和5年第2回臨時会が
3月27日に開かれ、条例改
正と補正予算を審議。原案
のとおり承認・可決し、閉
会しました。

条例の改正

◆広尾町簡易給水施設給水
条例の一部改正

広尾町水道事業給水管理
条例各条の規定を準用する
改正をしました。

補正予算

新型コロナウイルス
ワクチン接種事業
2748万円

新型コロナウイルスワク
チン接種事業は、予防接種
法特例臨時接種として令和
6年3月31日まで延長され
ました。

令和5年度の新型コロナワクチン接種

		令和5年春開始接種 (5月8日～8月)		令和5年秋開始接種 (9月以降)	
		努力義務	接種対象者	努力義務	接種対象者
12歳以上 の初回接 種完了者	65歳以上	○	○	○	○
	基礎疾患あり	○	○	○	○
	医療従事者等	×	○	×	○
	上記以外	×	×	×	○
5～11歳 の初回接 種完了者	基礎疾患あり	○	○	○	○
	上記以外	×	×(※)	×	○

(※) 5歳から11歳で3回目の追加接種が未接種の方は接種の期間が延長される。

重症化リスクが高い方な
どを対象に5月から8月ま
でに1回（令和5年春開始
接種）、追加接種可能なす
べての年齢の方（5歳以上）
を対象に9月から1回（令
和5年秋開始接種）接種を

行います。
また、生後6か月から4
歳までの乳幼児と初回接種
未完了者は、引き続き接種
の努力義務対象者となりま
す。
※接種者の自己負担なし。

令和5年度 補正予算の内訳

一般会計 ①	73億5448万円	2748万円	増
--------	-----------	--------	---

※会計名の後の丸数字は補正回数

(1万円未満切り捨て)

追跡!

どうなった? あの質問

過去に行われた一般質問がその後の町政にどう反映されたか、
追跡・調査しました。

どう
なった?
どう
なった?

令和5年4月から

医療費助成を開始

〈対象〉
① 広尾高校に通う全生徒
② 町内在住の保護者に扶養又は監
護されている町外の高校に通う
生徒

答 弁

事務事業の見直しの中で検討
他町村の実態や町民からの
要望は十分承知しており、今
後事務事業の見直しの中で検
討していきたい。

質 問

「高校生まで医療費無料化」
早期実施を
(令和4年6月定例会・旗手恵子議員)
高校3年生までの医療費無
料化に踏み切ること子育て
世帯の経済的支援につながる
と思うが。

考えた!



の現状 所管事務調査

総務常任委員会

出席委員：委員長 前崎 茂 副委員長 萬亀山ちず子
浜野 隆・渡辺富久馬・山谷照夫

調査日 令和5年2月13日

避難施設等の備えは

音調津避難施設等の現地視察を行い、町から防災行政や公園整備構想について資料に基づき説明を受けた。



避難施設内には体調不良者の隔離を想定した部屋も

避難施設 視察

①音調津避難施設 (しおさい荘)

- ・建築面積 347・3㎡
- ・床面積 346・56㎡
- ・収容人数 40人
- ・工期 令和3年7月着工
同年12月完成
- ・事業費 6422万2840円

②音調津定置番屋高台

「防災保管庫」備蓄品

- ・食料 200食
- ・飲料水 500ml 204本
- ・防災資機材
- ・毛布50枚、ポータブルス
トープ4台、発電機1台、
簡易トイレ1台 等

防災公園整備構想

公園に備える防災機能

- ・公園全体を有事の際の避難場所として活用

- ・ソーラーパネル公園灯を整備し、外部電源喪失時に活用

整備スケジュールと事業費は下記の通り。

問 音調津定置番屋高台に津波避難施設を設置してほしいとの要望がある。

答 現在の番屋は老朽化している。防災事業計画策定時に町内会、漁業協同組合等と協議・検討したい。

問 町民交流施設の維持管理費の予定額は。

答 草刈、施設の管理業務、光熱水費等を合わせ約2000万円程度。

問 交流施設よりも防災倉庫の整備を優先すべきと思うが。

答 防災機能を軽視したわけではなく、子どもの遊び場を優先すべきとした。

問 第6次まちづくり計画には「町民交流施設」が含まれていない。「観光交流施設」として別な項目で位置づけされているが。

答 「観光交流施設」を公園と一体的にできないか検討してきたが難しく子育てしやすいまちを目指すことを優先に「町民交流施設」を整備することにした。

「観光」の要素は弱まるが、町民が賑わう施設として、将来的に道の駅に発展すれば理想である。

■整備スケジュールと事業費 ※1万円未満は切り捨て

R 4	公園整備基本計画、基本設計	682万円
R 5	公園整備実施設計	5454万円
	町民交流施設基本設計等	421万円
R 6	公園整備敷地造成等	1億43万円
	町民交流施設地質調査、実施設計	1228万円
R 7	公園整備（遊具、園路、駐車場）	3億3316万円
	町民交流施設建築工事	1億2000万円
R 8	防災公園、町民交流施設供用開始	
	防災倉庫地質調査、実施設計	1080万円
	防災倉庫建築工事	1億1100万円
R 9	防災倉庫供用開始	

産業常任委員会

出席委員：委員長 小田雅二 副委員長 旗手恵子
松田健司・北藤利通・志村國昭・星加廣保・
議長 堀田成郎

調査日 令和5年2月9日

ふるさと納税の現状と課題

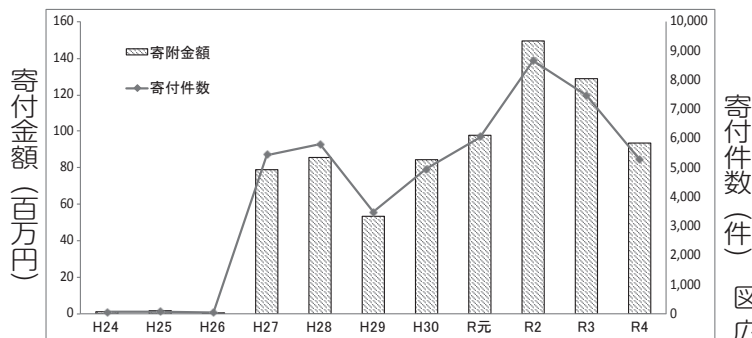


図-1 広尾町ふるさと納税の推移

見た！
聞いた！



ひろお 常任委員会

ふるさと納税とは

地方のふるさとで生まれ育った多くの人々は、生活の場を都会に移しそこで納税を行う。その結果、生まれ育ったふるさとの自治体の税収にはならない。このため自分の意思でふるさとに納税できる制度というところで平成20年5月から開始された。寄付額のうち2000円を超える部分について所得税と住民税から原則全額控除される。(上限あり)

メリットとデメリット

メリットは一部ではあるが、税の使い方を選ぶこと。また、地域貢献にもなり地場産の返礼品の採用で産業振興や雇用創出にもつながる。

デメリットは、町村に比べ都道府県は寄付が集まりにくく寄付者の在住する自治体も税収が減ること。制度の関心が返礼品に集中し、財源を必要とする自治体への寄付が行われないこと。

広尾町の推移

平成24年度から令和4年度の推移については図-1を参照。

平成27年度にポータルサイト「ふるさとチョイス」などの利用を始め本格的に事業を開始。毛ガニなどの紹介により寄付金額が大幅に増加した。翌年度からは専任のふるさと納税推進係を2人配置した。平成30年度からは水揚げに左右されない安定供給できる返礼品を開発していくことができ、令和2年度には寄付金額が過去最高の約1億5000万円に達した。令和3年秋ごろからの赤潮の影響により秋サケ、シシャモ、毛ガニ、バフンウニが軒並み不漁となり、前年度の額には及ばなかった。令和4年度も魚介類の数量・価格共に厳しい状況が続いているが、ポータルサイトの掲載を増やすなど、知名度を上げる努力をしていきたいとのこと。



海産物以外の返礼品も取り扱う

問

答

令和4年度の寄付額の落ち込みの主な要因は、

物価高で寄付金額が抑えられていると思われる、他町村との競合も厳しい。

返礼品の品数も減っており、価格が上がっていることもひとつの要因と考えている。

問

答

ふるさと納税の使い道などについて公表は、町広報誌で行っている。関係する課にもPRするよう働きかけている。

問

答

リピート率は、令和3年度だと7475件の申し込みがあり、リピートは1189件の15.9%。人数は860人。

議会活動日誌

令和5年3月～令和5年5月

【3月】

- 2日 第1回広尾町議会定例会（～10日）
第3回議員協議会
第3回議会運営委員会
- 4日 広尾町文化賞・スポーツ賞表彰式
- 10日 議会広報編集会議
- 19日 喜多龍一広尾後援会事務所開き
- 27日 第2回広尾町議会臨時会
- 30日 元音更町長葬儀

【4月】

- 10日 広尾高等学校入学式
- 28日 第6代帯広市長お別れの会（帯広市）

【5月】

- 8日 議会広報編集会議
- 9日 第4回議員協議会
- 10日 第2回産業常任委員会
- 12日 第2回議会広報特別委員会
第2回総務常任委員会
広尾町北方圏交流振興会総会

- 14日 広尾町消防団春季消防演習
- 16日 第3回広尾町議会臨時会
第5回議員協議会
- 18日 広尾町商工会通常総会
- 23日 議会報告会（豊似・2班、音調津・1班）
- 25日 十勝町村議会議長会定例会（帯広市）
十勝圏活性化推進期成会委員会（帯広市）
- 29日 第4回議会運営委員会
議会報告会（コミセン・全議員）

閉会中の所管事務調査

各常任委員会と議会運営委員会は、令和5年第2回定例会までの閉会中に、次の所管事務調査を実施します。

◇総務常任委員会

- ①一般廃棄物の処理計画について

◇産業常任委員会

- ①「集いの杜」プロジェクトについて

◇議会運営委員会

- ①議会の運営に関する事項について
- ②議会の基本条例、会議規則等に関する事項について
- ③議長の諮問に関する事項について

議会のこと

教えて！
さーたちゃん



Q

議会での「付託」
ってなに？

A

議決に先立って、詳しく審査するために、所管の委員会に審査を委託することだよ。
3月定例会では、新年度予算を審査するために「予算審査特別委員会」に付託されているよ。

Q

そもそも「議決」
ってなに？

A

議案などに対する可否（賛否）を本会議で決めること！
議決には種類があるんだよ。
可決（否決）：予算、条例、意見書、決議など
認定（不認定）：決算
承認（不承認）：専決処分
同意（不同意）：人事案件

Q

「特別委員会」
ってなに？

A

特定のことを審査するために、議決により設置される委員会のことだよ。
この議会だよりを作っているのも「議会広報特別委員会」だよ。

